

胆沢ダム建設時に工事用道路として活躍した猿岩隧道 ～その役割を胆沢ダムへ～

【当時】



猿岩隧道(トンネル) 北側



猿岩隧道(トンネル) 南側

【現在】



猿岩

貯水池



猿岩隧道(トンネル) 南側



猿岩隧道(トンネル) 北側



胆沢ダム

石淵ダム

猿岩

貯水池

猿岩隧道(トンネル)は、胆沢ダム右岸約3km上流にある猿岩を一直線に貫く形で、昭和22年～昭和23年に素掘りで掘られた全長696mの隧道です。もともと、胆沢川の支流の前川周辺の伐採木を貯木場まで運搬するための「水沢営林署森林軌道」の線路が設置されていた跡地で、廃線後も主に木材運搬や石淵ダム貯水池の巡視ルートとして利用されていました。

胆沢ダムの建設がはじまると、ダムの工事用道路としても活躍した隧道です。ダム完成に伴い貯水池内に水没してしまいましたが、渇水などで貯水位が例年よりも低下した時に姿を現します。